

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○		○		○	○	○		○	○		○	○	

## 企業の概要

企業・団体名	ラウンズ株式会社	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	8人
事業概要	テレワーク音声コミュニケーションツール「roundz」開発および提供 テレワークコンサルティング業務 テレワーク専門メディア「シゴトバ」の運用		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	運用ルールやマニュアルを作成
テレワーク担当部署	
テレワーク対象者	全員
実施者数	8人
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

## テレワークの導入・拡大の経緯

弊社代表が子育てを通して感じた働き方の選択肢の狭さから、働き方の多様性の必要性を強く認識して、テレワークを普及させるために創業した企業である。そのため創業当時より、テレワークを推進する企業として自ら率先してテレワークを導入して、全社員が毎日在宅勤務を中心にテレワークを行っている。最適なテレワーク環境を目指して、常に従業員からのフィードバックを得て、ICTツールやテレワークでの仕事の仕方を改善改良し続けている。ワーケーション制度の導入やテレワークを利用した地方採用などテレワーク活用を広げている。

## テレワークの概要・特徴

- 全社員が原則、毎日在宅勤務を行い、子供の送り迎えなどのある場合などは、シェアオフィスを利用している。
- 常に積極的にさまざまな最先端のICTツールを試行して、業務に最適なものを選択している。
- オフィスワークに比べて、テレワークで難くなる「ちょっと話す」を促進するために、自社で音声コミュニケーションツール「roundz」を作成して、テレワークでも隣に座っているように話したい相手と話したい時に会話ができる環境を整備した。
- 話したい相手にすぐに話しかけられるが、相手の状況がみえるので、相手の邪魔をしない。そのため、「オフィスでの気軽に話せる」と「テレワークで集中できる」の両方を可能にすることで、オフィスより働きやすい環境を提供できている。
- テレワークにより居住地の制限がなくなり、好きな場所に住むことができる。
- ワーケーション制度を導入しており、その制度を利用して、南国リゾートの島々から業務を行っている社員もいる。
- 培ったテレワークの経験や知識を公開して共有できるようにテレワーク専門のメディア「シゴトバ」(<https://shigoto-ba.com/>)を運用しテレワークの普及に貢献している。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ペーパーレスほぼ100%、オフィススペース60%削減達成
- 音声コミュニケーションツール「roundz」導入により、雑談なども簡単にできるようになり、コミュニケーション量が増え、孤独感をなくし、チームの一体感を感じることができるようになった。
- 好きな場所に住むことができ、趣味と仕事を両立させ、ワークライフバランスを実現している。
- テレワークと柔軟な働き方の導入により、作業に集中できるので生産性が向上している。
- 子育てが必要な人達でも働きやすい環境を提供できるので、離職がない。
- 遠隔地の人でも居住地で生活をしたまま業務できる地方採用ができるので、優秀な人材を確保することができている。そして地域人口減少や地域経済衰退の解決に貢献している。
- ワーケーションやワークライフバランスの実現により、従業員の満足度が高い。